

空が燃えている！

黒川文子

空が燃えている！

声にならない 叫びをあげて
悲しく吹きすさぶ風とともに
狂おしい炎となつて、

すべてを、
すべてを、
すべてを 焼き滅ぼそうと…

泣き崩れる空！

炎は すべてを燃やし尽くして
最後の悲鳴をあげる
もはや 燃やす なにもものもない…

なのに、
なのに どうしても残る…

黒く 焼け焦げた 空は残る！

嘆く…嘆く…真つ黒な空！
消えることの許されない
身の上を嘆く…私の空よ！

なぜ、
なぜ いつまでも…

なぜ、いつまでも いなくてはならないの？
いつも、いつも、
いつもあしたがくるなんて！

……突然 消えた！
すべては消え去っていた…

焼け焦げていた 私の空は！

すべてを、

すべてを 焼き滅ぼしたのは

あなたの瞳！

美しい 美しい 空 が広がっている！